

大橋1-1地区 がけ崩れ対策事業

政策1 災害レジリエンスNo.1の実現

施策3：防災インフラの整備（中長期レジリエンス戦略）

事業概要

- 所在地：藤岡市坂原
- 地区名：大橋1-1地区
- 事業内容：擁壁工、崩壊土砂防護柵工、法枠工
- 全体事業費：約2億円
- 事業期間：令和元年度～令和6年度（6年間）
- 保全対象：避難所 1箇所
人家 2戸

崩壊土砂防護柵とは、
斜面から崩れ落ちる土砂を、鋼杭とフェンスで受け止め、
被害を防止するものです。

どのような目的を達成するための事業か

- ・土砂災害リスクを軽減するため

事業位置



擁壁・防護柵を
つくります



・がけ崩れによる被害が不安なため、対策をしてほしい。（近隣住民）

| 成果を示す項目 | 実施前 | 実施後（目標） |
|----------|-----|---------|
| 保全される避難所 | 0箇所 | 1箇所 |
| 保全される人家 | 0戸 | 2戸 |

実施前

- ◆斜面が急であるため、大雨等でがけ崩れが発生するおそれがあります。



事業前の状況

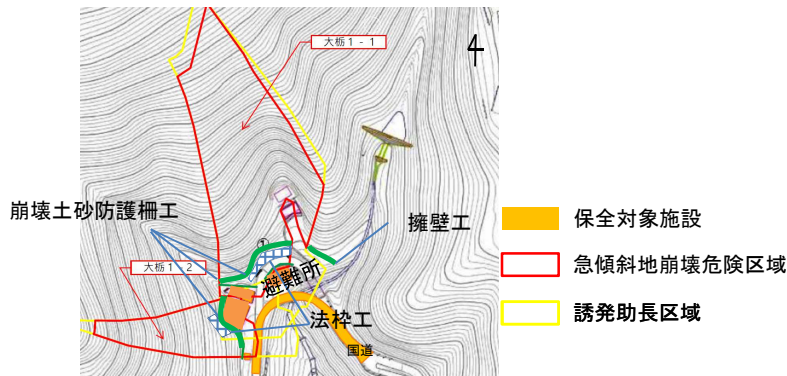
実施後

- ◆擁壁や防護柵をつくることにより、落石や崩落した土砂を受け止め、がけ崩れによる被害のリスクを軽減します。



事業後の状況（イメージ）

事業の進捗状況（R4年3月現在）



事業のすすみ具合

事業開始 ● ● 事業完了

今、何をしているか

令和3年度は、用地測量を実施しました。
令和4年度は、用地買収に着手します。



測量実施状況